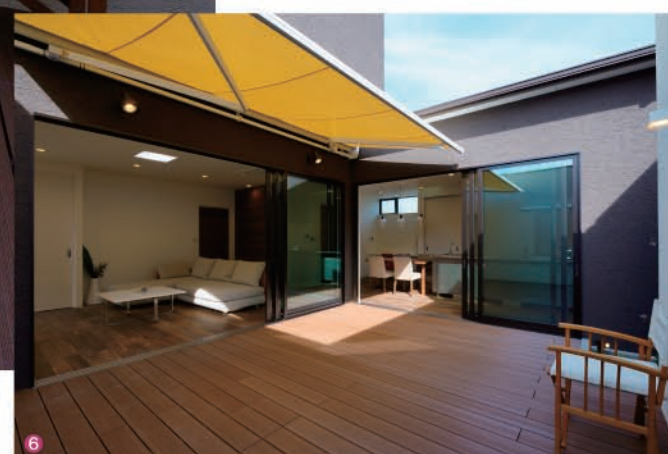




①ダイニングキッチンとリビングの間に仕切りを設けているため、別々の部屋として使うことも可能。②ダイニングの一角に設けたパソコンスペースは、ご主人の書斎がわり。将来は、子どもの勉強用スペースとしても活躍してくれそう。③2色使いのダークブラウンの塗り壁は、納得がいくまで何度も色味のサンプルを作ってもらって決めたのだそう。④玄関の窓からは、中庭の植栽が一幅の絵のように見える演出も。⑤料理上手のご主人は、キッチンから一番近い席がお気に入りの場所。休日には、家族に得意の料理を振るまっているのだとか。⑥電動オーニングを設置することで、夏場の強い日差しを遮り、室内に心地よい風を誘ってくれる。

## 想像以上の開放感と広がり的魅力！ のびやかに暮らす「中庭のある家」。

ダイニングキッチン、リビングとフラットに繋がる中庭は12畳もの広さ。道路や隣家からの視線をほどよく遮り、室内に心地よい光と風をもたらしてくれる。



感性ある住まい やすらぎの住宅

**com HOUSING**

岡山市北区十日市中町6-22  
TEL 0120-67-2102 fax.086-223-2103  
◆営/10:00~17:00  
◆休/水曜・祝日  
※営業時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。  
http://www.comhousing.com  
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。



「以前、杜宅の三階に住んでいたときに、窓にカーテンをしないで生活していたんです。そのときの明るく開放的な暮らしが心地よくて、ずっと憧れていました。」こう話すのは、昨年十一月に、倉敷市郊外に新居を構えたNさんの奥さま。五六・五八坪の住まいに、ご主人のNさんと奥さま、一歳になる長男の三人で新生活をスタートさせた。

ダークブラウンの外観が目を引き邸宅は、交通量の多い道路沿いにあるために、道側の窓の数はあえて少なめ。だが、家の中に入ると、中庭に臨む大開口の窓のおかげで、家族が集うLDKは驚くほど明るく、広さを感じさせる空間になっている。その家づくりを一任されたのが、「オンリーワンの家づくり」で知られる「コムハウジング」。カーテン要らずの開放的な空間とプライバシーの確保を両立する「中庭のある家」を提唱している。

ご夫妻は数年前から新居建設を検討していたそう。たまたま訪れた「コムハウジング」のOB邸の家づくりに共感した奥さまは、同社の女性スタッフの自宅やオープンハウスなど約二〇邸を見学。「センスを感じさせる家づくりや開放感あふれる中庭の存在に加え、スタッフの方が私たちの意向をうまく取り入れて、さまざまなプランを提案してくれたのがありがたかったですね」と当時を振り返り、依頼の決め手を教えてくれた。

家づくりにあたっては、リタイア後の暮らしを考えて、LDKや主寝室、サニタリーなどの生活空間を一階に集約させた間取りをリクエスト。また、ご主人たつての希望で、一階に書斎がわりのパソコンスペースを、二階には大容量の本棚を設けた。さらに、キッチン背面に隠せる収納を設けたり、玄関からパントリー、キッチンへとスムーズに繋がる家事動線を取り入れたりと、担当の女性建築士ならではのアイデアも多数盛り込まれた。

「新居に引っ越してからは、主人はダイニング、私はリビングで、中庭を眺めながらまったりと過ごす時間が気に入っています。これからの季節は気候もよくなるので、友人を招いてのバーベキューパーティやプール遊びをしたいですね」と、目を輝かせながら話してくれた。そして、「コストだけでは決められない付加価値がかなりあると思うし、実際に「コムハウジング」の住まいは他ではできない魅力を感じます。住まう人のことを考えて、より住みやすく、より使い勝手のいいようにと、かゆいところに手が届くような提案や、私たちのわがままをしっかりと聞いてくれたことに大きな価値を感じています」とNさん。「コムハウジング」へ全幅の信頼を寄せて完成させた自邸への喜びが、言葉の端々からも伝わってくる。